

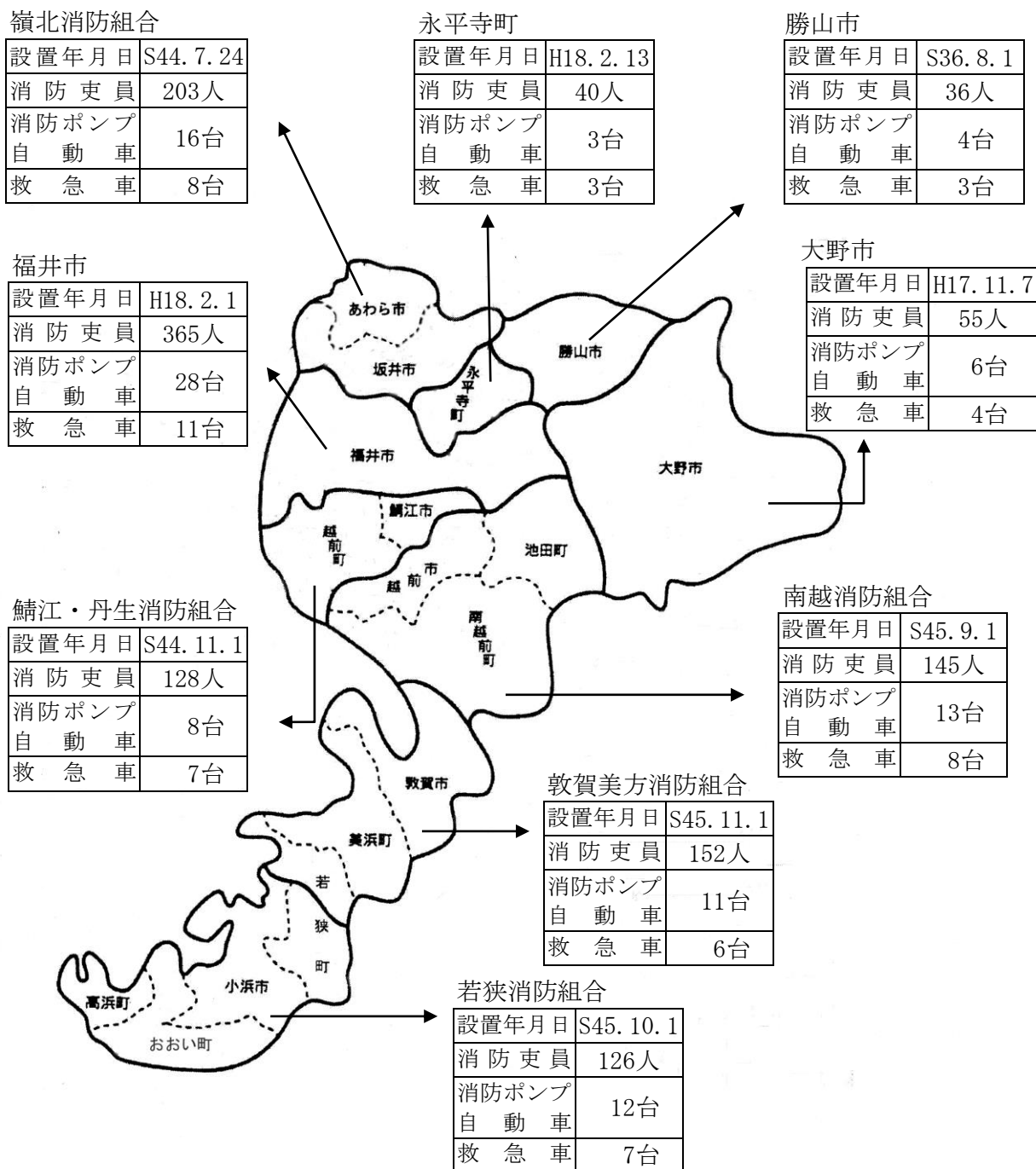
# 消 防 編

---



# 第1章 消防の概要

## 第1表 福井県常備消防体制(令和6年4月1日現在)



※台数については、消防団分を含まない

第2表 消防の概況表

面積（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和6年4月1日現在）		4,190.54	km <sup>2</sup>
令和2年国勢調査（確定値）人口		766,863	人
推計人口（令和6年4月1日現在）		740,232	人
推計世帯数（令和6年4月1日現在）		296,585	世帯
65歳以上高齢者数（福井県の推計人口 令和5年10月1日現在）		232,132	人
高齢化率（ " "）		31.6	%
地域別人口	福井坂井地区（令和2年国勢調査 確定値）		397,298 人
	奥越地区		53,436 人
	丹南地区		181,456 人
	嶺南地区		134,673 人
令和5年火災状況	火災件数		174 件
	うち	建物火災件数	98 件
		林野火災件数	4 件
	建物焼損面積（床）		17,335 m <sup>2</sup>
	林野焼損面積		14 a
	損害額		1,266,774 千円
	うち	建物火災	1,199,973 千円
		死者（自殺者数内数）	15 人
負傷者		31 人	
出火率（人口1万人に対する出火件数）※人口：令和5年3月31日現在		2.33	件
令和5年救急状況	救急出場件数		34,379 件
	うち	急病	22,204 件
		交通事故	2,035 件
		一般負傷	5,710 件
搬送人員		31,911 人	
消防本部・署所	消防本部	単独設置市	3
		単独設置町	1
		消防一部事務組合	5
	消防署数		19
	出張所数		26
	消防職員	消防吏員	1,250 人
その他の職員		26 人	
合計		1,276 人	
消防団	消防団数		18
	分団数		236
	消防団員	非常勤団員数	5,826 人
		常勤団員数	—
合計		5,826 人	

消 防 車 両 等	区 分		消防本部・署所		消 防 団			
	普通消防ポンプ自動車		52	台	125	台		
水槽付消防ポンプ自動車		22	台	4	—			
はしご付消防ポンプ自動車		9	台		—			
屈折はしご付消防ポンプ自動車		3	台		—			
大型高所放水車		1	台		—			
泡原液搬送車		2	台		—			
化学消防自動車		14	台		—			
指揮車		20	台		—			
小型動力ポンプ付積載車		4	台	203	台			
小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)		23	台	62	台			
広報車		26	台		—			
資機材搬送車		28	台		—			
屈折放水塔車		1	台		—			
救急自動車		57	台		—			
救助工作車		14	台		—			
その他の車両		28	台		—			
消 防 水 利	消火栓	公 設		18,978		個		
		私 設		98		個		
	防火水槽	100m <sup>3</sup> 以上		117		基		
		60m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満		112		基		
		40m <sup>3</sup> 以上 60m <sup>3</sup> 未満		4,975		基		
		20m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満		464		基		
	井戸	公 設		79		個		
私 設		—						
そ の 他				535		個		
通 信 施 設 等	消防用無線		基地局および固定局		66		局	
			移動局		1,129		局	
	防災行政無線	市町	同報無線	同報親局		24		局
				同報受信設備		47,760		局
			移動無線	基地局		5		局
				移動局		454		局
		県	固定系	地上系		28		局
				衛星系		68		局
		移動系	基地局等		18		局	
			移動局等		221		局	
テレビ監視装置				2		基		
火災報知専用電話				133		回線		
消防電話				224		回線		

## 第2章 火災の実態

### 1 概況

令和5年度中の火災発生件数は174件、死者15人、負傷者31人、損害額12億6,677万円、焼損棟数176棟、り災世帯数86世帯、り災人員198人となっており、一日当たりの損害状況は第1表のとおりで、概ね毎日347万円が灰じんに帰していることになる。

火災発生件数、損害額および死傷者数の過去10年間の推移は、第1図、第2図のとおりであり、火災発生件数においては、平成26年中が最も多く、令和3年中が最も少ない。

### 2 出火件数および損害額の状況

#### (1) 出火件数

総出火件数は174件で、これを火災種別ごとにみると、第3図のように建物火災が98件で全体の56.3%を占め、車両火災22件(12.6%)、林野火災4件(2.3%)、船舶火災0件(0%)、その他火災50件(28.7%)となっている。

また、建物火災だけでみると、第4図のように一般住宅が13件(35.1%)で最も多く、次いで工場7件(18.9%)、共同住宅5件(13.5%)、飲食店と事務所それぞれ3件(8.1%)、特定複合用途、倉庫それぞれ2件(5.1%)、その他2件(5.4%)となっている。

第3表の月別火災発生状況表を見ると、出火件数の多い月は8月の30件と3月の27件で、少ない月が1月の6件となっている。

第4表では、市町別の火災発生状況を示している。

#### (2) 損害額

損害額は12億6,677万円で、これを火災種別ごとにみると、第5図のように建物火災が11億9,997万円で全体の94.7%を占め、次いでその他5,415万円(4.3%)となっている。火災1件当たりの損害額は約728万円となる。

第3表の月別火災発生状況表をみると、5月の損害額が約3億1,110万円で最も多く、7月が約6,211万円で最も少ない。

### 3 出火原因

全火災の出火原因別状況を表したのが第6図であり、出火原因別損害状況を表したのが第6表である。

第6図をみると、出火原因ではたき火が最も多く15件で8.6%を占め、次いで、たばこ14件(8%)、電灯電話等の配線と電気機器、ストーブのそれぞれ10件(5.7%)、放火の疑い7件(4%)などとなっている。

#### 4 火災による死者の状況

死者の死因別発生状況を表したのが第7表であり、死者の経過別、年齢別発生状況を表したのが第8表である。

第7表をみると、死因では、一酸化炭素中毒・窒息が5人、火傷が9人となっている。

また、令和5年中の死者に占める65歳以上の高齢者は11人で全体の約7割となった。

第1表 1日当たりの損害状況

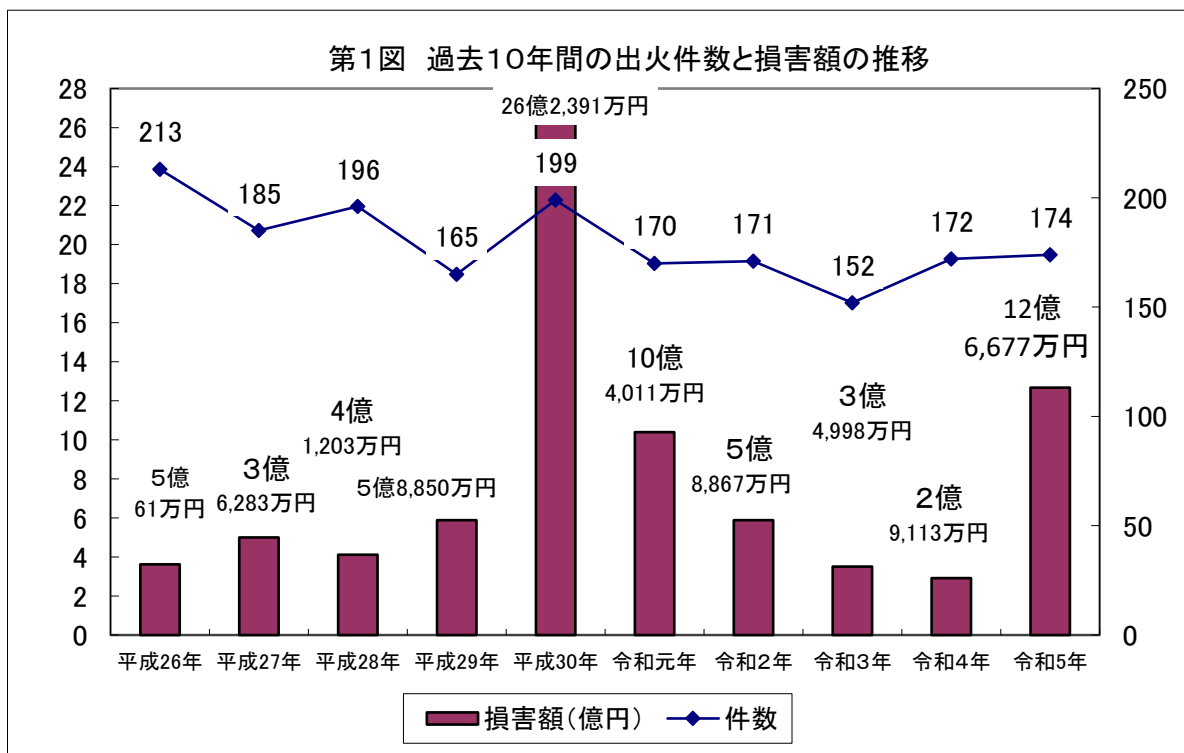
区 分	単位	令和5年 (A)	令和4年 (B)	対前年増加数 (A)－(B)
出火件数	件	0.48	0.47	0.01
損害額	万円	347	80	267
焼損棟数	棟	0.48	0.38	0.10
り災世帯数	世帯	0.24	0.21	0.03
り災人員	人	0.54	0.46	0.08

第2表 令和5年火災発生状況と前年比較表

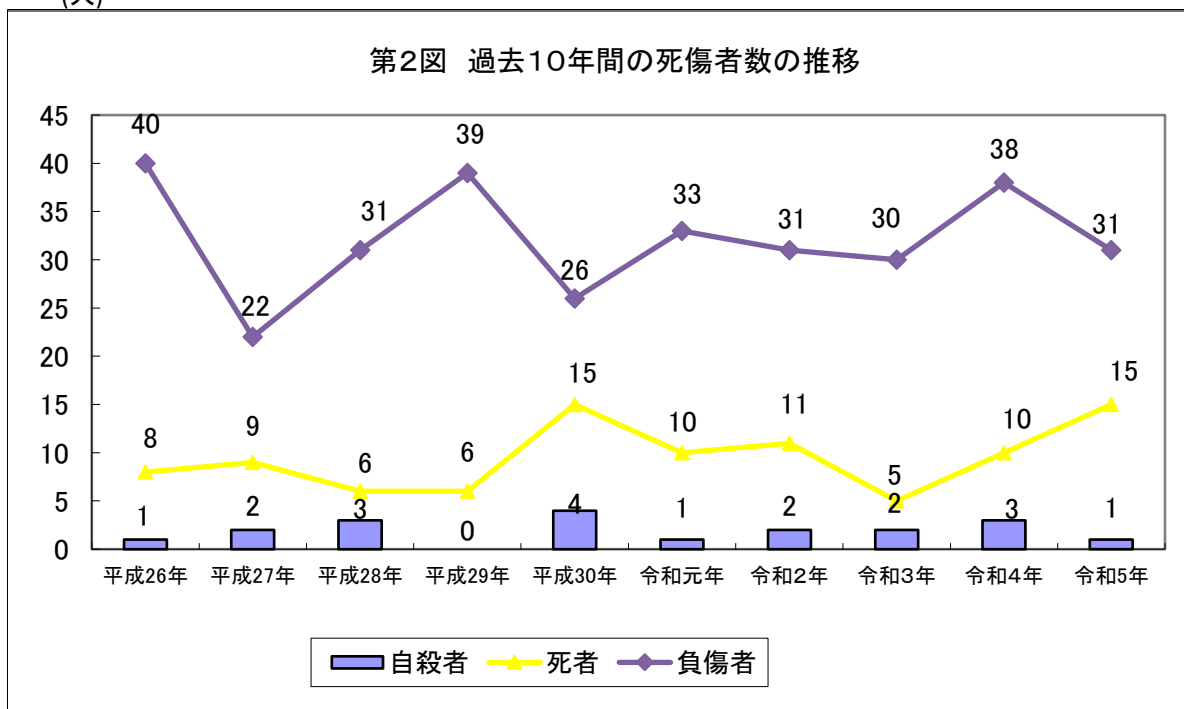
区 分	令和5年(A)	令和4年(B)	対前年増加数 (A) - (B) = (C)
総 出 火 件 数	174	172	2
建 物	98	95	3
林 野	4	6	△ 2
車 両	22	21	1
船 舶	0	2	△ 2
そ の 他	50	48	2
焼 損 棟 数 ( 棟 )	176	137	39
全 焼	51	32	19
半 焼	16	7	9
部 分 焼	58	37	21
ぼ や	51	61	△ 10
り 災 世 帯 数 ( 世 帯 )	86	75	11
全 損	26	17	9
半 損	16	6	10
小 損	44	52	△ 8
り 災 人 員 ( 人 )	198	167	31
建 物 焼 損 面 積 ( m <sup>2</sup> )	17,335	4,670	12,665
林 野 焼 損 面 積 ( a )	14	81	△ 67
損 害 額 合 計 ( 千 円 )	1,266,774	291,134	975,640
建 物	1,199,973	275,478	924,495
林 野	69	537	△ 468
車 両	10,863	7,272	3,591
船 舶	0	51	△ 51
そ の 他	54,147	7,796	46,351
爆 発	1,722	0	1,722
死 者 ( 人 )	15	10	5
( ) は 放 火 自 殺 者 内 数	(1)	(3)	(△ 2)
建 物	14	8	6
林 野	0	0	0
車 両	0	0	0
船 舶	0	0	0
そ の 他	1	2	△ 1
			0
負 傷 者 ( 人 )	31	38	△ 7
建 物	24	30	△ 6
林 野	1	1	0
車 両	4	2	2
船 舶	0	1	△ 1
そ の 他	2	4	△ 2
出 火 率 <small>(人口1万人に対する出火件数)</small>	2.33	2.25	



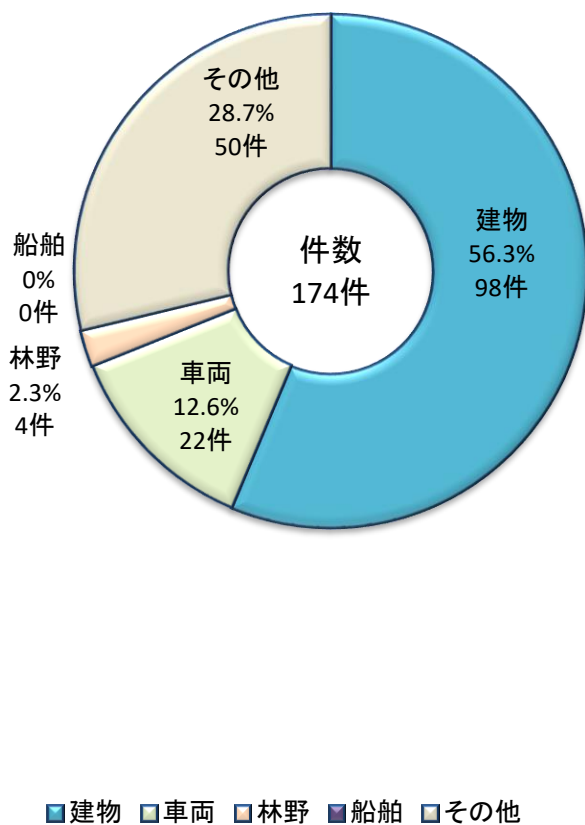
損害額(億円)



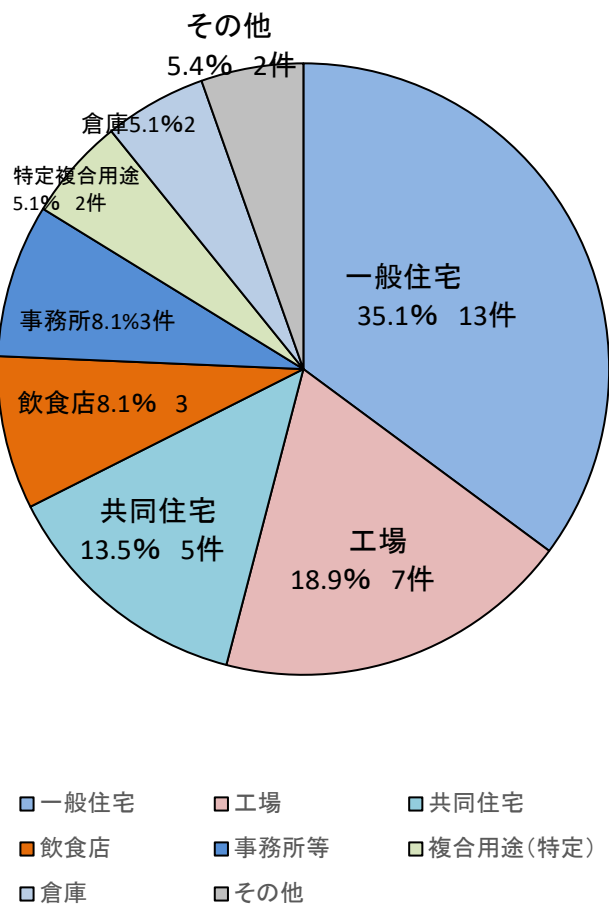
(人)



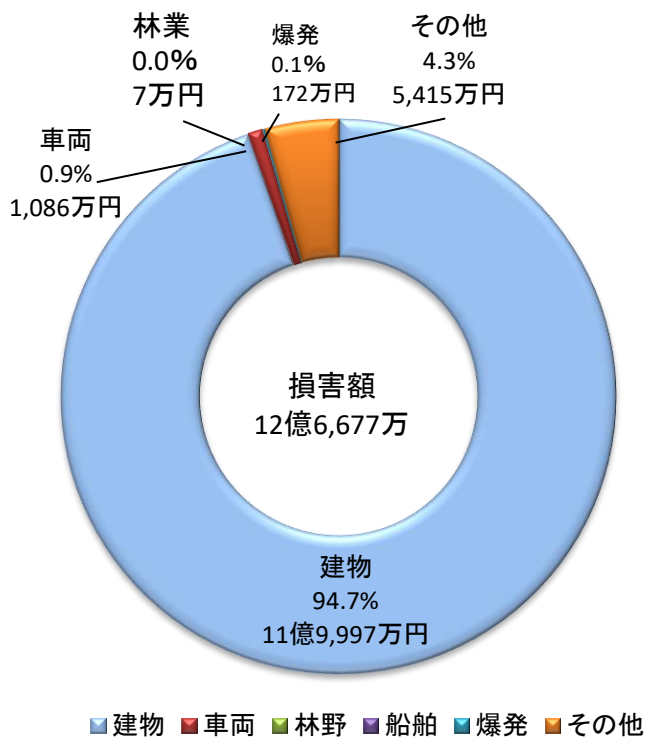
第3図 火災発生件数の内訳



第4図 建物火災用途別内訳



第5図 損害額の内訳



第3表 令和5年月別火災発生状況表

月	出火件数(件)						焼損棟数(棟)				焼損面積			り災世帯数(世帯)			り災人員(人)	死(人)	負傷者(人)	損害額(千円)							
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物(m <sup>2</sup> )	林野(a)	合計	全	半				小	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	爆発
1	6	6	0	0	0	0	12	3	2	5	2	483	0	9	3	1	5	16	1	1	0	58,291	0	0	0	0	
2	12	10	0	0	0	2	22	7	1	8	6	1068	0	15	6	1	8	32	3	3	0	81,747	0	0	127	0	
3	27	7	3	5	0	12	17	5	1	8	3	1817	12	6	2	1	3	20	0	4	0	197,076	29	3028	0	187	0
4	11	7	0	2	0	2	15	3	3	2	7	692	0	4	0	2	2	11	3	3	0	40,678	0	559	0	389	0
5	16	7	1	3	0	5	12	4	0	1	7	6800	2	1	0	0	1	1	1	3	0	311,103	40	184	0	22552	0
6	13	8	0	2	0	3	15	6	0	5	4	1044	0	9	3	2	4	22	1	3	0	40,520	0	2040	0	3161	0
7	10	4	0	3	0	3	5	0	1	1	3	82	0	2	0	1	1	5	0	1	0	6,211	0	135	0	63	0
8	30	14	0	4	0	12	26	6	2	12	6	684	0	11	2	1	8	24	2	6	0	47,059	0	2874	0	6069	0
9	7	5	0	0	0	2	8	1	1	4	2	181	0	8	1	4	3	19	1	3	0	16,194	0	22	0	0	0
10	11	9	0	0	0	2	13	2	1	4	6	603	0	8	2	1	5	14	2	2	0	37,808	0	0	0	157	1722
11	14	7	0	2	0	5	9	2	2	4	1	2139	0	2	1	0	3	0	0	0	0	298,680	0	1674	0	5744	0
12	17	14	0	1	0	2	22	12	2	4	4	1742	0	11	6	1	4	31	1	2	0	131,407	0	120	0	15698	0
計	174	98	4	22	0	50	176	51	16	58	51	17,335	14	86	26	16	44	198	15	31	1,266,774	69	10,863	0	54,147	1722	

第4表 市町別火災発生状況表

期間：令和5年1月1日～令和5年12月31日

区分	出火件数(件)						焼損棟数(棟)				り災世帯数(世帯)			り災人員(人)		死傷者数(人)		焼損面積						損害額(千円)					
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	死者	負傷者	建物床(m <sup>2</sup> )	建物表(m <sup>2</sup> )	林野(a)	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	爆発	
福井市	45	19	2	10	0	0	14	26	9	2	6	9	15	4	2	9	0	5	954	38	3	76,611	73570	69	1299	0	1673	0	
敦賀市	16	9	0	2	0	0	5	20	6	0	9	10	1	4	5	26	1	7	7083	55	0	376,558	329697	0	2442	0	44419	0	
小浜市	8	4	0	2	0	0	2	8	2	0	2	3	1	0	2	5	1	2	199	16	0	6,277	6056	0	202	0	19	0	
大野市	4	3	0	1	0	0	0	7	3	1	2	1	1	0	0	2	2	1	457	21	0	11,596	9466	0	2020	0	110	0	
勝山市	6	2	0	1	0	0	3	3	1	0	2	0	1	0	0	4	1	0	419	10	0	13,073	11791	0	1282	0	0	0	
鯖江市	7	6	0	0	0	0	1	9	1	2	4	4	1	0	3	8	3	1	319	5	0	12,345	10546	0	77	0	0	1722	
あわら市	7	2	1	1	0	0	3	7	1	1	2	2	2	0	0	4	0	5	474	49	1	25,846	25098	0	378	0	370	0	
越前市	26	19	0	0	0	0	7	32	8	3	6	17	6	3	8	41	4	2	1582	104	0	100,105	99833	0	2	0	270	0	
坂井市	24	14	0	4	0	0	6	33	11	3	12	19	7	3	9	37	2	7	3671	159	0	520,569	511969	0	1327	0	7273	0	
市計	143	78	3	21	0	0	41	145	42	12	45	72	22	12	38	156	14	30	15,158	457	4	1,142,980	1,078,026	69	9,029	0	54,134	1,722	
永平寺町	3	3	0	0	0	0	0	5	1	1	2	4	1	1	2	8	0	0	347	38	0	29,061	29061	0	0	0	0	0	
池田町	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0
南越前町	5	5	0	0	0	0	0	6	0	1	2	2	0	1	1	5	0	1	32	5	0	3,078	3078	0	0	0	0	0	
越前町	8	4	0	0	0	0	4	7	4	0	3	3	2	0	1	5	1	0	726	14	0	11,528	11512	0	14	0	2	0	
美浜町	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	5	0	0	22	0	0	480	480	0	0	0	0	0	
高浜町	4	1	0	1	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	97	3	0	94	0	0	0	
おおい町	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	
若狭町	6	5	0	0	0	0	1	10	4	2	4	4	1	2	1	19	0	0	1,051	44	0	79,544	77,807	0	1,726	0	11	0	
(内訳)																													
旧三方町 敦賀市消防管轄	2	2	0	0	0	0	0	2	1	1	0	1	0	1	0	5	0	0	97	0	0	13,577	13,577	0	0	0	0	0	
旧上中町 若狭消防管轄	4	3	0	0	0	0	1	8	3	1	4	3	1	1	1	14	0	0	954	44	0	65,967	64,230	0	1,726	0	11	0	
町計	31	20	1	1	0	0	9	31	9	4	13	14	4	4	6	42	1	1	2,178	102	10	123,794	121,947	0	1,834	0	13	0	
県計	174	98	4	22	0	0	50	176	51	16	58	86	26	16	44	198	15	31	17,336	559	14	1,266,774	1,199,973	69	10,863	0	54,147	1,722	

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載

第5表 市町別月別火災発生件数、損害額および出火率

期間：令和5年1月1日～令和5年12月31日

区分	総計		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		出火率 (人口 1万人に 対する 出火件数)	
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)		
福井市	45	76,611	1	1	6	11118	6	627	2	606	6	381	4	25951	3	5709	7	2259	2	7	3	34	1	14216	4	15702	1.75	
敦賀市	16	376,558	0	0	1	10884	3	4755	0	0	1	310536	1	0	0	0	5	5457	1	9143	1	1	2	5649	1	30133	2.57	
小浜市	8	6,277	0	0	1	31	1	0	0	0	0	0	0	0	1	60	0	0	1	4563	0	0	1	0	3	1623	2.84	
大野市	4	11,596	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2130	0	0	1	18	0	0	1	6826	0	0	1	2622	1.35	
勝山市	6	13,073	0	0	0	0	3	75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1282	2	11716	2.83
鯖江市	7	12,345	0	0	1	9932	0	0	0	0	0	0	0	0	1	53	3	638	1	0	1	1722	0	0	0	0	1.03	
あわら市	7	25,846	0	0	0	0	1	0	1	24932	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	378	1	536	2.64
越前市	26	100,105	3	5476	1	19528	3	63	2	1525	4	48	3	6360	3	381	4	32411	0	0	1	152	0	2	34161	3.31		
坂井市	24	520,569	2	52814	1	26859	2	125785	2	11	2	38	1	5881	2	8	3	5113	0	0	1	9	5	269137	3	34914	2.77	
市計	143	1,142,980	6	58,291	11	78,352	19	131,305	7	27,074	13	311,003	11	40,322	10	6,211	25	45,896	5	13,713	8	8,744	11	290,662	17	131,407	2.17	
永平寺町	3	29,061	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	29,061	0	0	0	0	1.61	
池田町	1	2,481	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,481	0	0	0	0	0	0	4.46	
南越前町	5	597	0	0	0	0	0	0	1	27	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	570	0	0	5.30	
越前町	8	11,528	0	0	1	3,395	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	683	0	0	0	0	2	7,448	0	0	4.14	
美浜町	2	480	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	480	0	0	0	0	0	0	0	0	2.27	
高浜町	4	97	0	0	0	0	1	0	0	0	1	94	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	0	0	4.05	
おおい町	2	6	0	0	0	0	1	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.64	
若狭町	6	79,544	0	0	0	0	2	65,769	2	13,577	0	0	1	198	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(内訳)																												
旧三方町 敦賀市消防管轄	2	13,577	0	0	0	0	0	0	2	13,577	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.52
旧上中町 若狭消防管轄	4	65,967	0	0	0	0	2	65,769	0	0	0	0	1	198	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
町計	31	123,794	0	0	1	3,395	8	65,771	4	13,604	3	100	2	198	0	0	5	1,163	2	2,481	3	29,064	3	8,018	0	0	3.48	
県計	174	1,266,774	6	58,291	12	81,747	27	197,076	11	40,678	16	311,103	13	40,520	10	6,211	30	47,059	7	16,194	11	37,808	14	298,680	17	131,407	2.33	

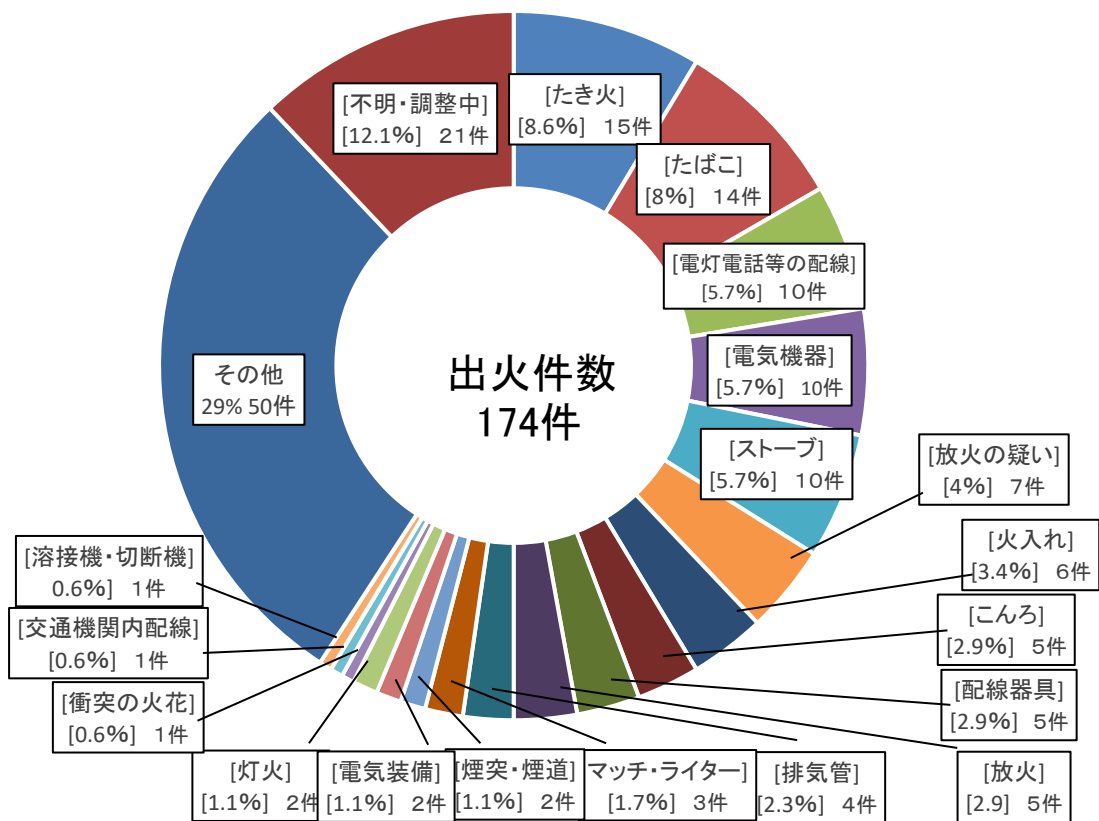
若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。  
出火率(人口1万人に対する出火件数)は、令和5年3月31日現在の住民基本台帳人口により算定

第6表 全火災の出火原因別損害状況表

期間:令和5年1月1日～令和5年12月31日

出火原因	出火件数(件)	焼損床面積(m <sup>2</sup> )	焼損棟数(棟)	り災世帯数(世帯)	損害額(千円)
たき火	15	442	10	2	26,277
たばこ	14	730	19	11	71,338
電灯電話等の配線	10	131	3	5	1,934
ストーブ	10	1,706	24	13	194,382
電気機器	10	695	9	6	31,961
放火の疑い	7	45	4	3	531
火入れ	6	0	0	0	202
こんろ	5	86	5	5	9,646
配線器具	5	0	3	1	1,070
放火	5	50	3	2	5,968
排気管	4	0	0	0	244
マッチ・ライター	3	0	1	1	49
煙突・煙道	2	212	3	2	13,056
灯火	2	217	3	3	4,898
電気装置	2	0	2	0	59
交通機関内配線	1	0	0	0	94
溶接機・切断機	1	0	1	0	70

第6図 全火災の出火原因別状況



第7表 死者の死因別発生状況表

死因 火災種別	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折 等	自殺	その他	不明	合計(人)
建 物 火 災	5	9	0	0	0	0	14
林 野 火 災	0	0	0	0	0	0	0
車 両 火 災	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 火 災	0	0	0	1	0	0	1
合 計 ( 人 )	5	9	0	1	0	0	15

第8表 死者の経過別および年齢別発生状況表

経過別 年齢別(歳)	0 ～ 5	6 ～ 10	11 ～ 20	21 ～ 30	31 ～ 40	41 ～ 50	51 ～ 60	61 ～ 64	65 ～ 70	71 ～ 80	81～	不明	合計 (人)
熟睡等により発見遅れる										2			2
逃げる暇がなかった (その他)				1									1
延焼拡大が早く逃げ 切れなかった									1	1			2
逃げ切れなかった(そ の他)							1	1			1		3
放火自殺									1				1
不明・調査中							1			1	4		6
合計(人)	0	0	0	1	0	0	2	1	2	4	5	0	15

## 第3章 救急業務の実態

### 1 救急体制

災害により生じた事故または屋外もしくは公衆の出入りする場所、あるいは屋内において生じた事故で、迅速に搬送する手段がない場合に傷病者を医療機関等へ搬送する業務が救急業務であるが、令和6年4月1日現在、第1表のとおり、救急自動車57台(全て高規格救急自動車)、救急隊50隊、救急隊員575名(うち救急救命士252名)で救急業務にあたっている。

### 2 救急医療体制

救急隊が搬送する傷病者を受け入れる救急告示医療機関数は、令和6年4月1日現在、第2表のとおり50施設である。

### 3 救急活動状況

救急活動状況を表したのが第3表であり、救急出場件数は34,379件、搬送人員は31,911人となっている。県内1日あたりの出場件数は約94件となり、約15分に1回の割合で救急隊が出場したことになる。

過去10年間の出場件数および搬送人員の推移を表したのが第1図である。令和2年には新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛等の影響で救急需要が大幅に減少したことから、出場件数と搬送人員ともに令和元年との比較で13%減少し、過去10年で最少となった。一方で、令和3年は、活動の制限が緩和されたことに伴って救急需要も増加し、令和2年との比較で、出場件数は10%、搬送人員は9%増加した。令和4年は令和3年との比較で、出場件数は12%、搬送人員は11%増加し、令和5年は令和4年との比較で、出場件数は7%、搬送人員は6%増加したことにより、出場件数と搬送人員が過去10年で最多であった。

出場件数、搬送人員の事故種別内訳を表したのが第2図、第3図であり、出場件数の事故種別内訳では、急病が22,204件で、全体の64.6%を占め、次いで一般負傷5,710件(16.6%)、交通事故2,035件(5.9%)などとなっている。搬送人員では急病が20,553人で全体の64.4%を占め、次いで一般負傷5,373人(16.8%)、交通事故2,055人(6.4%)などとなっている。



第1表 救急体制状況表

令和6年4月1日現在

消防本部名	救急自動車			救急隊員						救急隊
	高規格救急車	通常型	合計	専任		兼任		合計		合計
				救急救命士		救急救命士		救急救命士		
福井市	11	0	11	54	40	27	21	81	61	9
大野市	4	0	4			44	17	44	17	4
勝山市	3	0	3			29	11	29	11	2
永平寺町	3	0	3			33	12	33	12	2
嶺北消防組合	8	0	8			117	42	117	42	8
鯖江・丹生消防組合	7	0	7			96	35	96	35	6
南越消防組合	8	0	8			72	23	72	23	8
敦賀美方消防組合	6	0	6	19	16	17	9	36	25	5
若狭消防組合	7	0	7	8	6	59	20	67	26	6
合計	57	0	57	81	62	494	190	575	252	50

第2表 医療機関状況表

令和6年4月1日現在

種別	国・公立	公的	私的		合計
			病院	診療所	
救急告示医療機関	8	4	28	10	50
その他の医療機関	17	5	18	410	450
合計	25	9	46	420	500

第3表 救急活動状況表

(令和5年中)

	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自行損傷	急病	その他
救急出場件数	34,379	84	1	61	2,035	391	315	5,710	63	252	22,204	3,263
搬送人員	31,911	28	1	32	2,055	375	310	5,373	54	161	20,553	2,969

第4表 高速自動車道における救急活動状況表

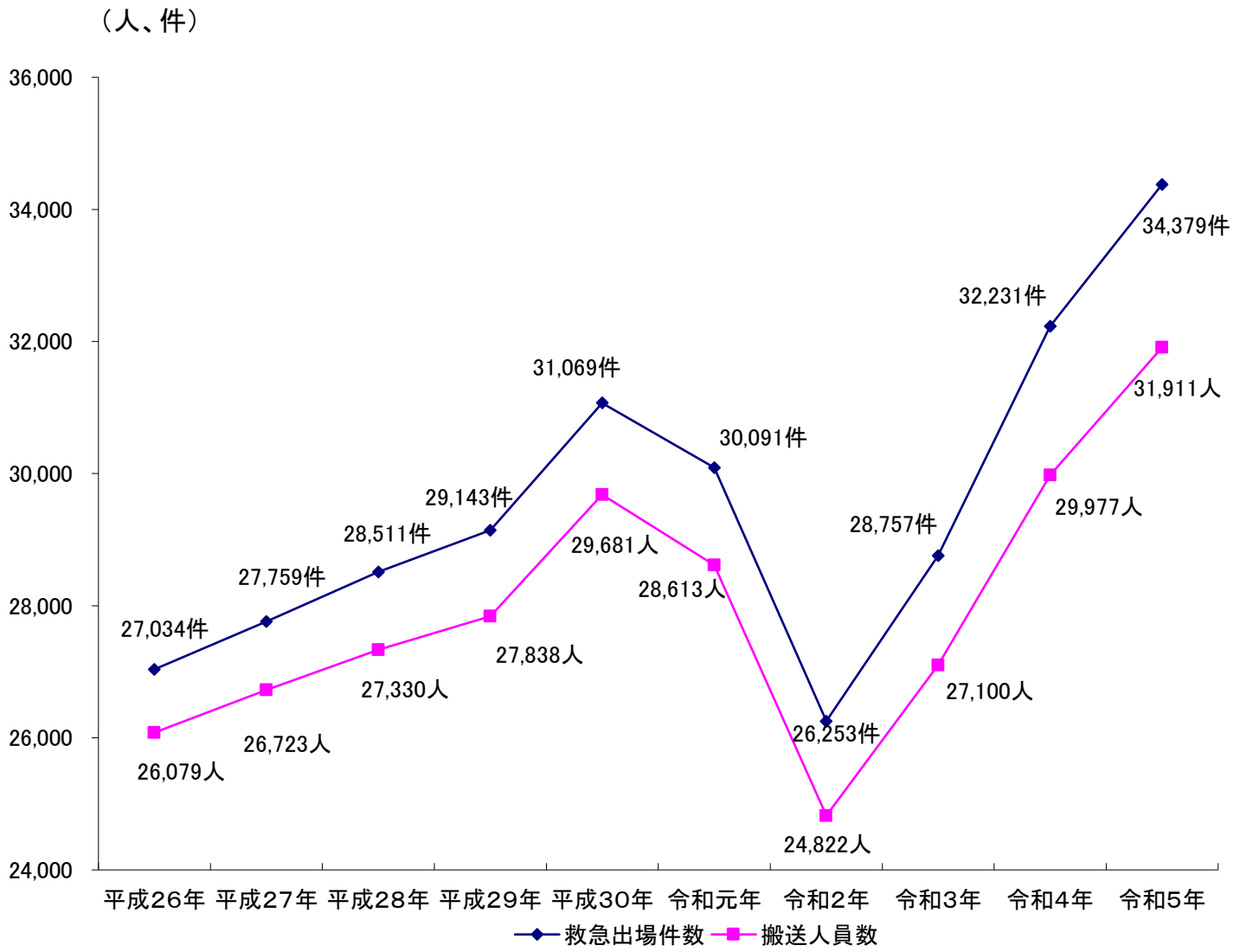
(令和5年中)

高速道路名	北陸自動車道										小計
担当消防本部名	嶺北消防組合消防本部		福井市消防局		鯖江・丹生消防組合消防本部		南越消防組合消防本部		敦賀美方消防組合消防本部		
I C 名	金津	丸岡	福井北	福井	鯖江	武生	今庄	敦賀			
救急出動数	8	6	0	1		10	26	14		23	88
搬送人員	7	6	0	1		13	25	18		17	87

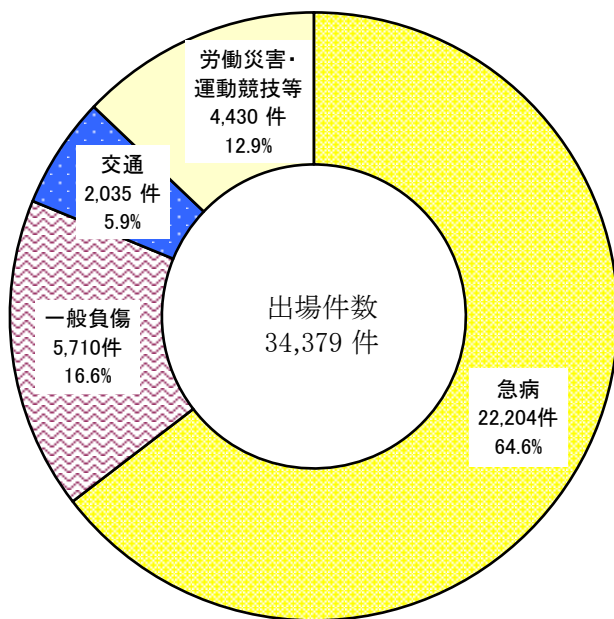
  

高速道路名	舞鶴若狭自動車道										小計	計
担当消防本部名	敦賀美方消防組合消防本部				若狭消防組合消防本部							
I C 名	敦賀南	若狭美浜	若狭三方	三方五湖	三方五湖	若狭上中	小浜	小浜西	大飯高浜			
救急出動数	0	2	1	2	0	0	1	4	0	10	98	
搬送人員	0	2	1	2	0	0	3	4	0	12	99	

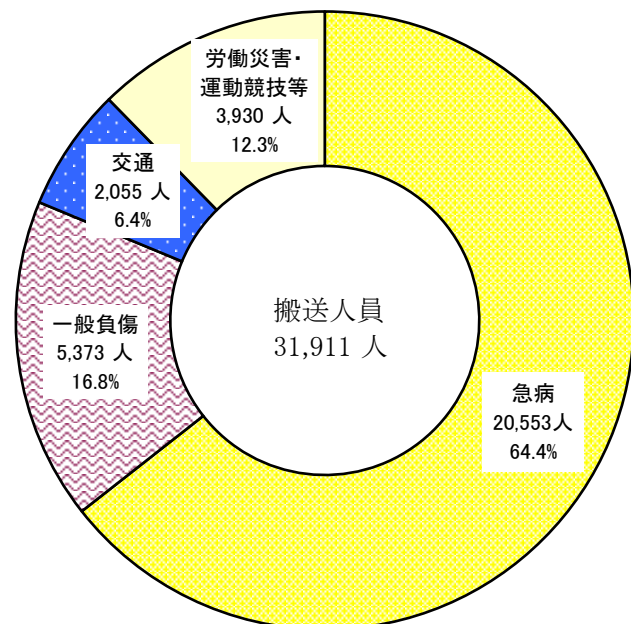
第1図 過去10年間の救急活動の推移



第2図 出場件数の事故種別内訳



第3図 搬送人員の事故種別内訳



## 第4章 予防行政の概況

### 1 防火対象物定期点検報告制度

不特定多数の人が出入りするなど一定の防火対象物について、所有者や賃借人等のうち管理について権原を有する人が、火災予防のために資格者による定期点検を行い、その結果を消防機関へ報告する制度である。

この制度による令和5年4月1日から令和6年3月31日までの状況は第1表のとおりである。

第1表 防火対象物定期点検報告制度実施状況表

防火対象物の区分			点検を要する防火対象物数		点検報告済防火対象物数		特例認定済防火対象物数	
			第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当
1	イ	劇場、映画館、演芸場または観覧場	31		10		8	
	ロ	公会堂または集会場	219		118		53	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの						
	ロ	遊技場またはダンスホール	50		36		7	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	1	1		1		
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	1	5		2		
	ロ	飲食店	5	29	4	10		
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗または展示場	204	11	151	6	3	1
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	40	78	21	15	9	19
6	イ	病院、診療所または助産所	37	9	16	1	9	3
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、精神障害者社会復帰施設等	7	5	3	4	3	
	ハ	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、精神障害者社会復帰施設（軽微）等	2	7	1	3	1	
	ニ	幼稚園または特別支援学校	1		1			
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	2		1			
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が上記に該当する用途に供されているもの	199	27	111	5	22	2
16の2		地下街						
合計			799	172	473	47	115	25

#### 【備考】

- ・点検報告済防火対象物とは、1年に1回、防火対象物点検資格者による点検報告が必要なもので、点検の結果、点検基準に適合していると認められた防火対象物。「防火基準点検済証」を表示することができる。
- ・特例認定済防火対象物とは、一定の要件を満たしているもので、申請によって点検報告の義務が3年間免除される防火対象物「防火優良認定証」を表示することができる。
- ・第1号該当とは、収容人員が300人以上の防火対象物
- ・第2号該当とは、収容人員が30人以上300人未満の防火対象物で次の要件に該当する防火対象物
  - 特定用途部分が地階または3階以上に存するもの（避難階は除く）
  - 階段が2以上設けられていないもの
- ・調査基準日…令和6年3月31日
- ・調査期間……令和5年4月1日～令和6年3月31日

## 2 消防設備士試験および講習の状況

消防設備士は、甲種・乙種合わせて703人の受験者に対して306人が合格し、合格率は43.5%であった。その状況は第2表のとおりである。

また、免状所有者に対する義務講習は625人が受講した。その状況は第3表のとおりである。

### 第2表 消防設備士試験実施状況表

区 分	令和5年度								免状交付延べ数	
	受験者数(人)		合格人数(人)		合格率(%)		免状交付数			
	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
特 類	9		5		55.6%		1		20	
第 1 類	80	22	21	4	26.3%	18.2%	9	9	1,349	375
第 2 類	25	12	15	7	60.0%	58.3%	5	1	391	119
第 3 類	38	11	17	5	44.7%	45.5%	9	1	340	79
第 4 類	159	73	73	33	45.9%	45.2%	50	32	3,067	1,292
第 5 類	28	13	9	5	32.1%	38.5%	8	4	359	142
第 6 類		192		81		42.2%		72		2,568
第 7 類		41		31		75.6%		28		3,534
計	339	364	140	166	41.3%	45.6%	82	147	5,526	8,109

### 第3表 消防設備士法定講習実施状況表

区 分	受 講 対 象 者 区 分	受講者数(人)	実 施 年 月 日
消 火 設 備	(甲・乙)第1類, 第2類, 第3類 消防設備士	147	令和5年8月29日(火)
避難設備・消火器	(甲・乙)第5類, (乙)第6類 消防設備士	172	令和5年8月30日(水) 令和5年12月19日(火)
警 報 設 備	(甲・乙)第4類, (乙)第7類 消防設備士	306	令和5年12月20日(水) 令和5年12月21日(木)
合 計		625	

## 第5章 危険物規制

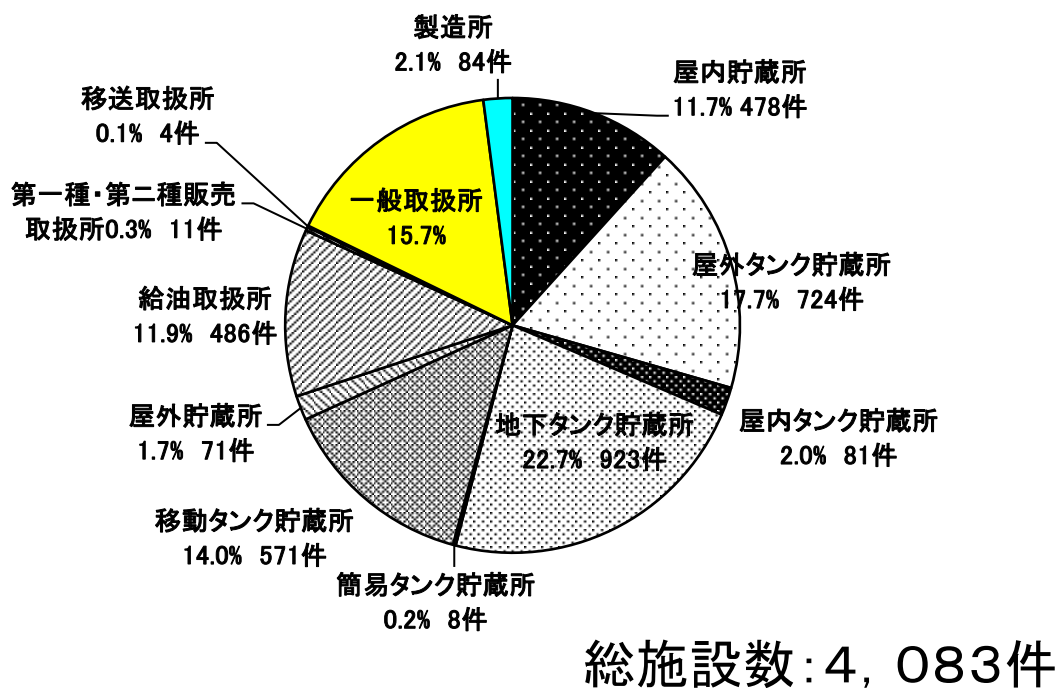
### 1 概況

(1) 危険物規制は、福井市、大野市、勝山市および永平寺町においては当該市町が、またその他の市町においてはそれぞれの加入する消防組合が行なっている。

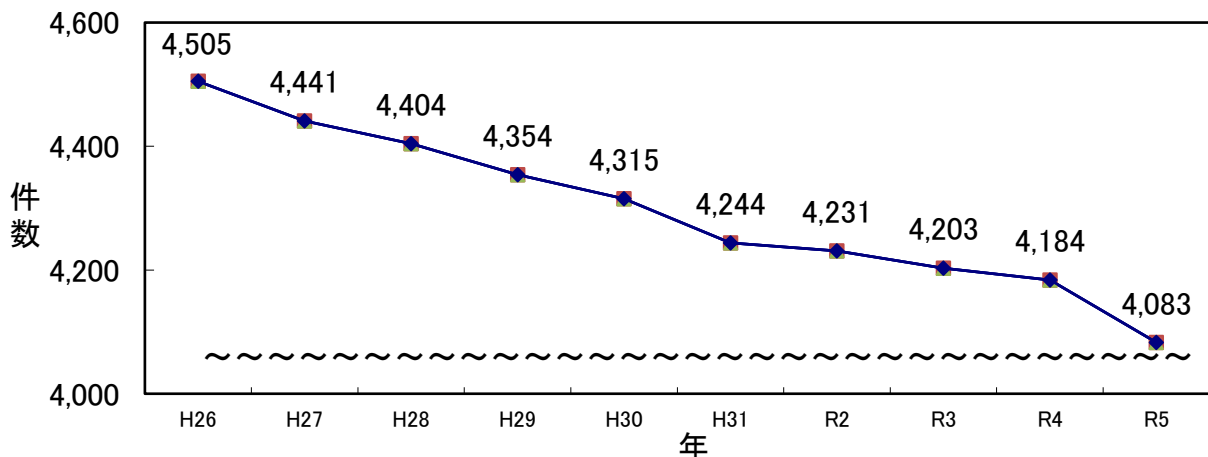
なお、県内の総施設数は第1図のとおりである。(令和6年3月31日現在)

(2) 危険物の総施設数の推移は第2図のとおり減少傾向であり、前年に対し101件減少している。

第1図 危険物施設構成比(完成検査済証交付分)



第2図 過去10年間の危険物施設の推移



第1表 施設別危険物施設数

令和6年3月31日現在

危険物施設の別 消防本部名	製造所 (A)	貯蔵所										取扱所					合計 (A+B+C)	事業所	
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	準特定屋外タンク貯蔵所		屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所			小計 (C)
				特定屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所														
福井市	26	110	194	5	20	27	248	1	157	18	755	121	8	0	1	138	268	1,049	491
大野市	0	8	14	0	0	0	49	0	32	0	103	20	0	0	0	30	50	153	90
勝山市	3	9	23	0	0	1	42	0	13	2	90	15	0	0	0	20	35	128	76
永平寺町	0	5	3	0	0	2	19	0	13	0	42	6	0	0	0	11	17	59	35
嶺北消防組合	35	106	191	3	34	11	156	1	102	22	589	82	0	0	2	166	250	874	294
鯖江・丹生消防組合	5	60	49	0	0	4	100	0	44	6	263	42	0	2	0	46	90	358	271
南越消防組合	13	71	104	0	0	12	115	2	71	9	384	63	0	0	0	74	137	534	240
敦賀美方消防組合	1	56	90	7	8	15	118	0	88	11	378	88	0	0	1	94	183	562	221
若狭消防組合	1	53	56	0	0	9	76	4	51	3	252	49	1	0	0	63	113	366	153
合計	84	478	724	15	62	81	923	8	571	71	2,856	486	9	2	4	642	1,143	4,083	1,871

- 注：1 貯蔵所および取扱所の区分は危険物の規制に関する政令の区分による（以下の表においても同様）。
- 2 本表には、設置を許可した施設のうち、完成検査済証を交付した施設数から廃止届を受理した施設数を除いた数を記載（以下の表においても同様）
- 3 準特定屋外タンク貯蔵所には、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が五百キログラム以上千キログラム未満のものを記載（以下の表においても同様）
- 4 特定屋外タンク貯蔵所数は、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が千キログラム以上のものを記載（以下の表においても同様）
- 5 事業所数は、危険物施設を有する事業所の数を記載

第2表 指定数量別および類別危険物施設数

令和6年3月31日現在

危険物施設の別 数量別・類別	製 造 所 (A)	貯 蔵 所										取 扱 所					合 計 (A + B + C)		
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	準 特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所		小 計 (C)	
5倍以下	4	214	113			54	468	8	436	14	1,307	38	3			271	312	1,623	
5倍を超えて10倍以下	11	96	89			22	219		17	27	470	50	4			157	211	692	
10 " 50 "	34	84	246			5	156		25	27	543	127	2	2		128	259	836	
50 " 100 "	17	20	92				37		68	2	219	67				37	104	340	
100 " 150 "	3	33	53				26		24		136	52				15	67	206	
150 " 200 "		12	9	1			7			1	29	51				9	60	89	
200 " 1,000 "	15	16	58	9	3		10		1		85	100				18	118	218	
1,000 " 5,000 "		3	22	5	17						25	1				3	4	29	
5,000 " 10,000 "			3		3						3					2	2	5	
10,000倍を超えるもの			39		19						39				4	2	6	45	
合 計	84	478	724	15	42	81	923	8	571	71	2,856	486	9	2	4	642	1,143	4,083	
単 独	第 1 類		6								6							6	
	第 2 類	1	4								4					4	4	9	
	第 3 類		3								3					5	5	8	
	第 4 類	58	420	820	15	62	81	923	8	571	70	2,893	486	9	2	4	611	1,112	4,063
	第 5 類		13	2							15							15	
	第 6 類			2								2							2
混 在	25	32								1	33					22	22	80	
合 計	84	478	824	15	62	81	923	8	571	71	2,956	486	9	2	4	642	1,143	4,183	

注：1 数量別の欄は、危険物施設で貯蔵または取り扱う危険物の最大数量（許可数量）を指定数量の倍数によって表したものである。  
 2 類別の欄の単独には、類を同じくする危険物のみを貯蔵または取り扱っている危険物施設の数、混在には、類を異にする危険物を貯蔵または取り扱っている危険物施設の数に記載

第3表 危険物施設に対する立入検査状況

令和5年4月1日から  
令和6年3月31日まで

危険物施設の別 消防本部名		製 造 所 (A)	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計 (A + B + C)		
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所	小 計 (C)
福 井 市	検査施設数	26	42	175	12	118		156	18	521	81	1		1	131	214	761
	延回数	26	43	175	14	127		156	18	533	93	1		1	136	231	790
大 野 市	検査施設数							31		31	10					10	41
	延回数							31		31	10					10	41
勝 山 市	検査施設数	2	6	18	1	30		12	1	68	10				12	22	92
	延回数	2	6	18	1	30		12	1	68	10				12	22	92
永 平 寺 町	検査施設数		5	3	2	19		13		42	6				11	17	59
	延回数		5	3	2	19		13		42	6				11	17	59
嶺北消防組合	検査施設数	8	31	79	3	38		95	11	257	55			2	53	110	375
	延回数	8	31	79	3	40		95	11	259	55			2	53	110	377
鯖江・丹生消防組合	検査施設数	5	38	35	1	79		1	7	161	37		3		32	72	238
	延回数	5	38	35	1	79		1	7	161	37		3		32	72	238
南越消防組合	検査施設数		18	28	1	19		63	3	132	18				7	25	157
	延回数		18	28	1	19		64	3	133	18				7	25	158
敦賀美方消防組合	検査施設数	1	25	45	7	41		82	4	204	68			1	46	115	320
	延回数	1	25	45	7	41		82	4	204	68			1	46	115	320
若狭消防組合	検査施設数	1	29	35	5	37		49	2	157	32				24	56	214
	延回数	1	29	35	6	42		57	2	171	32				24	56	228
合 計	検査施設数	43	194	418	32	381		502	46	1,573	317	1	3	4	316	641	2,257
	延回数	43	195	418	35	397		511	46	1,602	329	1	3	4	321	658	2,303

注：1 検査施設数の欄は、立入検査を行った施設数を危険物施設の区分ごとに記載  
2 延回数の欄は、立入検査を行った延回数を危険物施設の区分ごとに記載



第4表の1 容量別屋外タンク貯蔵所数

令和6年3月31日現在

消防本部名 容量別	福	大	勝	永	嶺	鯖	南	敦	若	合
	井	野	山	平	北	江・	越	賀	狭	計
	市	市	市	寺	消	丹	消	美	消	
				町	防	生	防	方	防	
					組	消	組	消	組	
					合	防	合	防	合	
					合	組		組		
						合				
100kl未満	152	14	23	3	135	32	94	53	50	556
100kl～500kl未満	17	0	0	0	19	17	10	22	6	91
500kl～1,000kl未満	5	0	0	0	3	0	0	7	0	15
1,000kl～5,000kl未満	0	0	0	0	2	0	0	8	0	10
5,000kl～10,000kl未満	0	0	0	0	19	0	0	0	0	19
10,000kl～50,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50,000kl～100,000kl未満	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
100,000kl以上	20	0	0	0	13	0	0	0	0	33
合 計	194	14	23	3	193	49	104	90	56	726

第4表の2 品名別屋外タンク貯蔵所数

令和6年3月31日現在

品名別 容量別	第4類										第4類以外の類(B)	合計(A+B)
	原	ナ	ガ	灯	軽	重	第4	アル	そ	小		
	油	フ	ソ	油	油	油	石	コ	の	計		
		サ	リ				油	ール	他	(A)		
			ン				類	類				
100kl未満	0	0	0	66	33	141	20	63	229	552	4	556
100kl～500kl未満	0	0	0	3	16	38	9	0	44	110	0	110
500kl～1,000kl未満	3	0	1	0	1	7	0	0	6	15	0	15
1,000kl～5,000kl未満	0	0	7	2	4	7	0	0	14	34	0	34
5,000kl～10,000kl未満	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2
10,000kl～50,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50,000kl～100,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100,000kl以上	30	0	0	0	0	6	0	0	0	36	0	36
合 計	33	0	8	73	54	199	29	63	293	749	4	753

第5表 危険物取扱者試験実施状況

区 分 種 別		令和2年度 合格率 (%)	令和3年度 合 格 率 ( % )	令和4年度 合 格 率 ( % )	令和5年度		
					受験者数 ( 人 )	合格者数 ( 人 )	合 格 率 ( % )
甲 種		39.6	36.2	36.6	170	64	37.6
乙 種	第 1 類	68.3	63.2	67.7	106	74	69.8
	第 2 類	66.7	69.2	62.4	102	65	63.7
	第 3 類	70.2	70.3	73.2	128	92	71.9
	第 4 類	38.8	37.3	30.0	2,260	624	27.6
	第 5 類	71.9	70.1	37.9	121	90	74.4
	第 6 類	58.8	59.2	74.1	127	90	70.9
	小 計	46.5	45.5	38.5	2,844	1,035	36.4
丙 種		49.0	57.2	45.6	449	203	45.2
合 計		46.5	46.6	39.4	3,463	1,302	37.6

第6表 危険物取扱者保安講習実施状況

区 分 講習種別		令和2年度 受講者数 (人)	令和3年度 受講者数 (人)	令和4年度 受講者数 (人)	令和5年度	
					受講者数 (人)	講習実施回 数 ( 回 )
給 油 取 扱 所		461	399	377	437	8
石 油 コ ン ビ ナ ー ト		51	45	25	40	1
そ の 他		1,584	1,580	1,165	1,728	10
合 計		2,096	2,024	1,567	2,205	19

- 注：1 「給油取扱所」は、給油取扱所において危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 2 「石油コンビナート」は、石油コンビナート等災害防止法上の特定事業所における危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 3 「その他」は、「給油取扱所」および「石油コンビナート」以外の危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。

## 2 危険物施設の火災および漏えい事故等

- (1) 過去5年間における危険物の災害事故発生件数は、令和3年が9件と最も多い。  
 (2) 過去5年間の危険物施設別の災害事故発生件数は、移動タンク貯蔵所での事故が9件と最も多い。

第7表 過去5年間の危険物施設における災害事故発生件数

年	危険物施設の別の別	製造所 (A)	貯蔵所							取扱所					その他 (D)	合計 (A+B+C+D)		
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所			一般取扱所	小計 (C)
令和元年	火災	3								0						0		3
	漏えい								3	3						0		3
	その他								2	2						0		2
令和2年	火災									0					1	1		1
	漏えい								1	1					1	1		2
	その他									0						0		0
令和3年	火災	1								0					2	2		3
	漏えい			1		1			1	3	1				1	2		5
	その他									0	1					1		1
令和4年	火災	1								0					1	1		2
	漏えい			1						1					1	1		2
	その他									0	1					1		1
令和5年	火災									0						0		0
	漏えい									0						0		0
	その他									0						0		0
火災計		5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	9
漏えい計		0	0	2	0	1	0	5	0	8	1	0	0	0	3	4	0	12
その他計		0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	0	0	0	2	0	4
総計		5	0	2	0	1	0	7	0	10	3	0	0	0	7	10	0	25

注： 危険物施設の別の「その他」には、危険物運搬中の事故または無許可の危険物施設など、許可を受けている危険物施設以外での事故件数を記載

## 第6章 消防の概要

### 1 消防の組織〈消防機関と人員〉

昭和23年消防組織法施行後、市町村消防の原則が確立され、昭和48年7月1日大野地区消防組合が発足したことにより、県下全域にわたり消防の常備化が実現した。消防吏員は令和6年4月1日現在で1,250名である。

また、消防団員数は令和6年4月1日現在で5,826名であるが、近年の社会経済情勢の変化の影響を受けて、団員数の減少、サラリーマン団員の増加等の課題に直面しており、消防団の充実強化を一層推進することが必要である。

### 2 消防施設

#### (1) 消防機械

消防機械の保有状況は第8表および第9表のとおりであるが、特に近年の救急需要の増加に伴い、各消防本部とも高規格救急自動車の導入を推進している。これにより、高度な救急処置を実施することができ、救命率の向上を図っている。

#### (2) 消防水利

消防水利は、消防機械とともに、火災鎮火のために重要不可欠なものである。

これについては、消防に必要な水利の確保と管理のため「消防水利の基準」が定められ、その基準に適合したものを消防水利としている。消防水利には、消火栓、防火水槽、プール等の人工水利と河川等の自然水利があり、その保有状況は第11表のとおりである。

### 3 民間防火組織

#### (1) 幼年消防クラブ

幼年消防クラブは、幼年期における防火教育の重要性、防火活動を通じての正しい社会的態度の養成の必要性などの観点からはじめられたもので、幼稚園、保育園の指導者を中心に消防機関の協力を得て幼年消防活動を行うことにより、父母兄弟や近隣住民に対する防火思想の普及も効果的に図られている。

#### (2) 少年消防クラブ

少年消防クラブは、少年のころから火災予防に関する知識を身に付け、学校や各家庭における火災防止を図るとともに、火に関する諸原理を実際に即して勉強し、学校教育としての社会科、理科および家庭科の学習の補助を目的とするものであって、昭和25年に少年消防クラブ取扱要綱が制定され、続いて昭和28年に「全国少年消防クラブ運営指導協議会」(会長：消防庁長官)が設けられ、今日に至っている。

#### (3) 女性防火クラブ

女性防火クラブは、家庭において火を使用する機会の多い女性を対象に、火災予防の知識を養うことが必要であることから、任意に結成されたものであり、消防職団員の指導のもとに各家庭の防火診断、火災の初期活動等、重要な役割を果たしている。

## 4 表 彰

消防職員および消防団員の士気高揚を図るとともに、地域住民の消防に対する正しい認識と円滑な協力援助関係を確立するため、消防に関して功労のあった消防職団員、消防機関その他の団体または個人に対し、各種表彰を行っている。

また、昭和58年より新たに県知事の定例表彰の中で、30年以上勤続の消防団員の配偶者等も表彰することにした。

## 5 消防の現況

第1表 消防職団員数の推移(各年4月1日現在)

区分	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
消防職員数	150	163	203	201	231	227	262	257	268	293	328	351	354	372	381	421	461	521	594
消防団員数	11,835	10,701	8,487	8,275	8,091	7,342	7,174	7,147	7,118	6,744	6,759	6,731	6,751	6,754	6,491	6,388	6,303	6,191	6,019

47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4
693	743	785	785	832	851	872	895	922	937	950	974	974	982	982	983	999	1,009	1,010	1,032	1,052
5,814	5,703	5,647	5,635	5,633	5,623	5,629	5,616	5,549	5,623	5,616	5,608	5,588	5,549	5,545	5,485	5,471	5,453	5,437	5,488	5,492

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1,090	1,101	1,119	1,141	1,162	1,169	1,183	1,186	1,190	1,188	1,190	1,193	1,192	1,190	1,189	1,184	1,183	1,180	1,192	1,196	1,189
5,497	5,519	5,502	5,533	5,523	5,518	5,497	5,499	5,483	5,460	5,436	5,439	5,442	5,406	5,411	5,411	5,480	5,560	5,656	5,688	5,661

26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6
1,188	1,206	1,206	1,226	1,238	1,235	1,246	1,245	1,252	1,248	1,250
5,720	5,797	5,781	5,809	5,825	5,824	5,814	5,874	5,858	5,849	5,826

第2表 消防機関の現況

区 分		令和5年4月(B)	令和6年4月(A)	増減(B-A)
消防本部・署	消防本部数	9	9	0
	消防署数	19	19	0
	出張所数	26	26	0
	消防職員数	1,248	1,250	2
消防団	消防団数	18	18	0
	分団数	237	236	△1
	消防団員数	5,849	5,826	△23

第3表 消防の概況

令和6年4月1日現在

消防本部名 区分	消防本部・署所				消防団				消防水利		基地局および固定局 移動局								
	設置別	消防署数	出張所数	消防実員数	自普通自動車数	水槽付消防ポンプ自動車数	消防団数	分団数	消防団常備部数	計		常勤	非常勤	自普通自動車数	付小型積載車	消火栓（公設）	防火水槽		
																		消防本部のみ設置	消防本部署を併設
福井市	○	4	13	365	18	3	1	54		992		992	1	52	9,617	830	30	15	174
大野市		1	1	55	4		1	9		450		450	10	20	488	315	20	3	37
勝山市		1		36	3	1	1	12		290		290	2	11	437	203	13	15	42
永平寺町		1		40		3	1	11		356		356	10	10	184	253	11	3	27
嶺北消防組合		4	1	203	6	4	2	33		706		706	33	6	1,619	1,241	105	4	131
鯖江・丹生消防組合		1	4	128	5	1	2	36		547		547	29	3	1,669	908	37	5	254
南越消防組合		3	2	145	7	4	3	32		791		791	10	27	2,536	690	31	7	149
敦賀美方消防組合		3	1	152	3	3	3	16		732		732	21	35	1,336	237	162	8	142
若狭消防組合		1	4	126	6	3	4	33		962		962	9	39	1,092	527	55	6	173
計	1	8	26	1,250	52	22	18	236	0	5,826	0	5,826	125	203	18,978	5,204	464	66	1,129

第4表 階級別消防職員数

令和6年4月1日現在

区分	消防職員											その他の職員			条例定数		
	計 (A) = (B) + (C)	うち女性	消防司令	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	小計 (B)	事務職員	技術職員		単 純 労 務 職 員	小計 (C)
消防本部名																	
福井市	373	9	( )	1	6	26	87	57	60	71	57	365	8	( )	( )	8	356
大野市	56	3	( )	( )	( )	1	6	19	11	8	10	55	1	( )	( )	1	55
勝山市	39	1	( )	( )	( )	1	6	14	5	4	6	36	3	( )	( )	3	42
永平寺町	40	2	( )	( )	( )	1	5	12	4	6	12	40	( )	( )	( )	0	45
嶺北消防組合	205	7	( )	1	2	6	47	39	44	36	28	203	2	( )	( )	2	218
鯖江・丹生消防組合	129	6	( )	( )	1	10	35	20	22	19	21	128	1	( )	( )	1	140
南越消防組合	154	5	( )	( )	1	10	34	32	23	22	23	145	9	( )	( )	9	154
敦賀美方消防組合	153	4	( )	( )	1	13	24	29	27	30	28	152	1	( )	( )	1	156
若狭消防組合	127	3	( )	( )	1	7	30	21	24	24	19	126	1	( )	( )	1	140
計	1,276	40	( )	2	12	75	274	243	220	220	204	1,250	26	0	0	26	1,306

注1: 下段の( )は、女性職員の内数

注2: 条例定数に含まれない派遣・出向職員および短時間勤務の再任用職員がいるため、条例定数を超えている場合がある。

第5表 階級別非常勤消防団員数

令和6年4月1日現在

階級別 消防本部名	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	条約定数
福井市	992 (46)	1 ( )	8 ( )	54 (2)	54 (2)	102 (4)	103 (5)	670 (33)	1,055
大野市	450 (91)	1 ( )	2 ( )	9 (1)	10 (2)	34 (3)	69 (6)	325 (79)	485
勝山市	290 (21)	1 ( )	2 ( )	12 ( )	12 ( )	25 (1)	33 (2)	205 (18)	299
永平寺町	356 (42)	1 ( )	2 ( )	12 (1)	11 (1)	34 ( )	34 ( )	296 (40)	412
嶺北消防組合	706 (22)	2 ( )	7 ( )	33 ( )	52 ( )	2 (2)	64 (3)	546 (17)	773
鯖江・丹生消防組合	547 (12)	2 ( )	5 ( )	33 ( )	33 ( )	78 (1)	78 (1)	396 (11)	647
南越消防組合	791 (48)	3 ( )	9 ( )	32 (2)	32 (2)	83 (5)	83 (5)	632 (39)	826
敦賀美方消防組合	732 (34)	3 ( )	4 ( )	16 ( )	16 ( )	53 (1)	88 (3)	552 (30)	769
若狭消防組合	962 (31)	4 ( )	6 ( )	33 ( )	23 ( )	54 (1)	94 ( )	748 (30)	970
計	5,826 (347)	18 (0)	45 (0)	234 (6)	243 (7)	270 (12)	646 (25)	4,370 (297)	6,236

注：下段の( )は、女性団員の内数



第6表 年齢別消防吏員および消防団員数

令和6年4月1日現在

年齢別 消防本部名	消 防 団 員										消 防 吏 員																												
	(C)のうち										平均年齢 (B) (A)	(A)のうち																											
	18歳 ～ 19歳	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 34歳	35歳 ～ 39歳	40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳	55歳 ～ 59歳	60歳 ～ 64歳		65歳 以上	年齢合計 (D)	平均年齢 (D) (C)	18歳 ～ 19歳	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 34歳	35歳 ～ 39歳	40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳	55歳 ～ 59歳	60歳 ～ 64歳	65歳 以上	年齢合計 (B)	平均年齢 (B) (A)												
福 井 市	0	4	24	48	90	161	194	169	154	111	37	48,419	48.8	365	4	48	57	32	45	21	51	46	61	14,665	40.2	992	0	4	24	48	90	161	194	169	154	111	37	48,419	48.8
大 野 市	0	1	14	21	47	49	84	82	67	46	39	22,484	50.0	55	2	4	9	7	6	6	5	10	6	2,169	39.4	450	0	1	14	21	47	49	84	82	67	46	39	22,484	50.0
勝 山 市	0	2	7	13	40	51	61	45	29	36	6	13,774	47.5	36	1	3	3	5	2	7	9	3	1,518	42.2	290	0	2	7	13	40	51	61	45	29	36	6	13,774	47.5	
永 平 寺 町	8	15	17	17	21	42	62	48	38	46	42	17,396	48.9	40	3	5	5	6	3	1	10	4	3	1,497	37.4	356	8	15	17	17	21	42	62	48	38	46	42	17,396	48.9
嶺 北 消 防 組 合	1	5	19	35	90	102	143	145	86	51	29	33,688	47.7	203	2	21	27	28	18	24	35	21	8,013	39.5	706	1	5	19	35	90	102	143	145	86	51	29	33,688	47.7	
鯖 江 ・ 丹 生 消 防 組 合	0	4	34	43	78	124	102	106	36	14	6	24,060	44.0	128	3	19	19	10	17	10	22	18	10	4,900	38.3	547	0	4	34	43	78	124	102	106	36	14	6	24,060	44.0
南 越 消 防 組 合	1	8	16	58	79	107	159	153	116	61	33	38,065	48.1	145	6	16	22	15	5	28	22	9	5,501	37.9	791	1	8	16	58	79	107	159	153	116	61	33	38,065	48.1	
敦 賀 美 方 消 防 組 合	0	27	54	116	169	133	109	59	31	21	13	29,738	40.6	152	3	18	15	26	21	23	29	12	5	5,685	37.4	732	0	27	54	116	169	133	109	59	31	21	13	29,738	40.6
若 狭 消 防 組 合	0	12	63	147	215	189	151	97	45	32	11	39,913	41.5	126	3	11	24	19	20	10	12	16	11	4,709	37.4	962	0	12	63	147	215	189	151	97	45	32	11	39,913	41.5
計	10	78	248	498	829	958	1,065	904	602	418	216	267,537	45.9	1,250	27	145	181	152	160	96	188	172	129	48,657	38.9	5,826	10	78	248	498	829	958	1,065	904	602	418	216	267,537	45.9

注:18歳～19歳の欄は18歳未満含む。

第7表 在職年数別消防吏員および消防団員数

令和6年4月1日現在

年数別 消防本部名	消 防 吏 員								消 防 団 員							
	消				防				常 勤				非 常 勤			
	合 計	5 年 未 満	5 10 年 未 満	10 15 年 未 満	15 20 年 未 満	20 25 年 未 満	25 30 年 未 満	30 年 以 上	合 計	5 年 未 満	5 10 年 未 満	10 15 年 未 満	15 20 年 未 満	20 25 年 未 満	25 30 年 未 満	30 年 以 上
福 井 市	365	55	61	52	24	30	26	117	992	187	228	183	154	102	78	60
大 野 市	55	6	10	8	6	5	8	12	450	91	67	109	70	40	32	41
勝 山 市	36	5	2	4	5	3	5	12	290	51	49	53	37	44	33	23
永 平 寺 町	40	11	4	5	3	2	5	10	356	162	64	54	34	24	13	5
嶺 北 消 防 組 合	207	23	36	36	26	16	20	50	706	129	127	117	120	88	74	51
鯖 江 ・ 丹 生 消 防 組 合	128	27	17	14	14	9	23	24	547	89	116	125	86	80	32	19
南 越 消 防 組 合	145	21	30	22	12	7	23	30	791	129	179	127	120	95	77	64
敦 賀 美 方 消 防 組 合	152	20	20	32	20	19	18	23	732	226	205	143	79	47	16	16
若 狭 消 防 組 合	124	16	17	29	14	12	13	23	962	299	303	174	97	55	29	5
計	1,252	184	197	202	124	103	141	301	5,826	1,363	1,338	1,085	797	575	384	284

第8表 消防ポンプ自動車等現有数(消防本部および署)

令和6年4月1日現在

区分	消防本部・署現有													その他車両										
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	はしご付消防ポンプ自動車(ポンプ付でないものを含む)	消防ポンプ自動車	大型高所放水車	泡原液搬送車	化学消防ポンプ自動車	指揮車	照明車	積小型ポンプ車	小型動力車	広報車	資器材搬送車		屈折放水塔車	水槽車	支援車	人員搬送車	防災指導車	救急自動車	救助工作車			
消防本部名																								
福井市消防局	17	3	2	1	1	1	3	5			7	6	4			1	1		11 (11)	2	8			
大野市消防本部	4		1				1	1					3		1				4 (4)	1	1			
勝山市消防本部	3	1						1				1	1						3 (3)	1	2			
永平寺町消防本部		3						1			2		1						3 (3)	1				
嶺北消防組合	6	4			2		1	4	5		4	0	5			1			8 (8)	3	7			
鯖江・丹生消防組合	5	1		1			1	2				7	2		1	2			7 (7)	1	1			
南越消防組合	6	4		1			2	3			2	6	5	1	1	1	1		8 (8)	3				
敦賀美方消防組合	4	3	1				2	1				6	5		1	0			6 (6)	1	8			
若狭消防組合	7	3		1			1	1			6	5	2				1		7 (7)	1	1			
計	52	22	3	1	3	2	3	1	2	14	20	0	4	23	26	28	1	4	3	5	1	57 (57)	14	28

注:救急自動車の( )は高規格救急自動車で内数

第9表 消防ポンプ自動車等現有数（消防団）

令和6年4月1日現在

種別 消防本部名	消防団現有			
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	
			小型動力ポンプ付積載車	車両に積載していないもの
福井市	1		52	0
大野市	10		20	4
勝山市	2		12	0
永平寺町	10		10	0
嶺北消防組合	33		8	14
鯖江・丹生消防組合	29	4	3	0
南越消防組合	10		26	9
敦賀美方消防組合	21		35	3
若狭消防組合	9		37	32
計	125	4	203	62

第10表 化学消火薬剤備蓄状況

令和6年4月1日現在

種別	計		化学消火剤種別															
	(A)	(B)	たん白系		合成界面	水成膜泡	水溶性液体用泡	粉末(kg)										
	(kg) (ア)~(オ)	(kg) (カ)~(ケ)	3%型 (kg) (ア)	6%型 (kg) (イ)	活性炭 (kg) (ウ)	消火薬剤 (kg) (エ)	消火薬剤 (kg) (オ)	第1種 粉未 (kg) (カ)	第2種 粉未 (kg) (キ)	第3種 粉未 (kg) (ク)	第4種 粉未 (kg) (ケ)							
消防本部名																		
福井市	15.65	0.00	10.90	0.09	1.63	2.69	0.34											
大野市	1.79	0.00			0.60	1.19												
勝山市	0.76	0.00			0.76													
永平寺町	0.50	0.00			0.50													
嶺北消防組合	27.29	0.00	5.06		3.59	18.64												
鯖江・丹生消防組合	1.92	0.00			0.42	1.50												
南越消防組合	2.55	0.00			0.99	1.56												
敦賀美方消防組合	1.58	0.00	0.20		0.84	0.54												
若狭消防組合	1.34	0.00			1.34													
計	53.38	0.00	16.16	0.09	10.67	26.12	0.34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						



第12表 消防機関の出動状況

令和5年中

区分	種別	県計 (ア)~(カ)	火災 (ア)	風水害 等の 災害 (イ)	演習 訓練 (ウ)	広報 指導 (エ)	警防 調査 (オ)	火災 原因 調査 (カ)	特別 警戒 (キ)	捜索 (ク)	予防 査察 (ケ)	誤報等 (コ)	その他 (サ)
消防本部・署所	出動回数	19,016	174	69	2,518	2,486	3,226	271	1,573	15	7,003	21	1,660
	出動延人数	73,008	3,102	264	11,945	8,707	17,085	1,281	4,888	143	18,655	1,162	5,776
消防団	出動回数	4,447	97	26	1,243	294	27	0	430	0	0	21	2,309
	出動延人数	33,298	1,613	552	15,278	2,652	396	0	3,875	0	0	119	8,813

第13表 消防吏員および団員の公務による死傷者数

令和5年中

区分	種別	県計 (ア)~(キ)	火災 (ア)	風水害 等の 災害 (イ)	救急 業務 (ウ)	演習 訓練 (エ)	特別 警戒 (オ)	捜索 (カ)	その他 (キ)
消防吏員	死者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	11	4	0	0	5	0	0	2
消防団	死者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	9	2	0	0	6	0	0	1

第14表 火災通報施設等の現況

令和6年4月1日現在

区分	火災報知機			テレビ 監視装置 (基)	望楼		電話					救急指令装置		
	受信機 (基)	発信機			小計 (ウ)+(エ) (基)	24時間 監視体 制をとつ ているもの (ウ) (基)	その他 (エ) (基)	小計 (カ)+(キ)+(ク) (回線)	火災報知 専用電話 (カ) (回線)		消防機関にあるもの		救急 指令専用	消防 指令装置と併用
		小計 (ア)+(イ) (基)	公衆用 (ア) (基)						自衛用 (イ) (基)	加入電話 (キ) (回線)	消防電話 1ヶ月あた りの経費 (千円) (回線)	加入電話 (キ) (回線)		
消防本部名														
福井市	0				0		255	18	204	160	33			1
大野市	0			1	0		31	9	1	84	21			
勝山市	0				0		19	16			3			
永平寺町	0				0		53	44			9			1
嶺北消防組合	0				0		37	2			35			
鯖江・丹生消防組合	0				0		65	11	5	244	49	1		1
南越消防組合	0				0		55	12	2		41			
敦賀美方消防組合	0				0		50	13	4	252	33			
若狭消防組合	0			1	0		48	8	8		32			
計	0	0	0	2	0	0	613	133	224	740	256	1		3



第15表 無線通信施設等の現況

令和6年4月1日現在

種別	消防・救急業務用無線（デジタル方式）											携帯電話等				
	固定局			基地局および携帯基地局						移動局		その他の無線局数	衛星携帯電話保有数	救急車および救急隊	うち災害時 優先電話	
	局数		局の電波の数の 「その他」の数	局数		電波の数				陸上移動局数	携帯局数					
	多重	その他		基地局	携帯基地局	統制波	主運用波	活動波	防災相互波							
消防本部名																
福井市	6			9		3	1	5		174			4	11	11	
大野市				3		3	1	2		37			2	4	4	
勝山市		12	12	3		3	1	2		42			1	2	2	
永平寺町				3		3	1	2		27			1	3	3	
嶺北消防組合				4		3	1	3		131			1	9	4	
鯖江・丹生消防組合				5		3	1	2		254			3	6	6	
南越消防組合				7		3	1	3		149			5	8	8	
敦賀美方消防組合				8		3	1	2		142			3	6	5	
若狭消防組合				6		3	1	2	1	173			1	6	6	
計	6	12	12	48	0	27	9	23	1	1,129	0	0	21	55	49	

第16表 幼年消防クラブの現況

令和6年4月1日現在

種別	組織別クラブ数					組織別クラブ員数					指導者数					
	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市 町 単位	区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市 町 単位	区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	その他
消防本部名																
福井市	2	2					33	33					11	11		
大野市	14	14					871	871					14	14		
勝山市	10	10					378	378					32	32		
永平寺町	1			1			119		119				63	63		
嶺北消防組合	44	44					3,766	3,766					44	44		
鯖江・丹生消防組合	38	38					1,419	1,419					92	92		
南越消防組合	33	33					764	764					33	33		
敦賀美方消防組合	36	36					2,344	2,344					36	36		
若狭消防組合	1	1					31	31					6	6		
計	179	178	0	1	0	0	9,725	9,606	0	119	0	0	331	331	0	0

第17表 少年消防クラブの現況

令和6年4月1日現在

種別	組織別クラブ数						組織別クラブ員数						指導者数			
	計	学校単位		市町単位	区単位	その他	計	学校単位		市町単位	区単位	その他	計	学校単位		その他
		小学校	中学校					小学校	中学校					小学校	中学校	
消防本部名																
福井市	50	50					2,409	2,409					191	191		
大野市	9	9					554	554					9	9		
勝山市	15	3		3	9		771	300			54	417	47	9		38
永平寺町	9				9		152					152	51			51
嶺北消防組合	26	26					1,043	1,043					26	26		
鯖江・丹生消防組合	20	20					2,306	2,306					91	91		
南越消防組合	21	21					743	743					21	21		
敦賀美方消防組合	10	10					308	308					10	10		
若狭消防組合	0						0						0	0		
計	160	139	0	3	18		8,286	7,663	0	0	54	569	446	357	0	89

第18表 女性防火クラブの現況および活動状況

令和6年4月1日現在

種別 消防本部名	合計		周囲の状況						活動状況別組織数		
	組織数 (ア)+(イ)+(ウ)+(エ)	人員 (カ)+(キ)+(ク)+(ケ)	市街地		農山村地域		漁村地域		消火活動を行う (a)	消火活動は行わないが、炊き出し、連絡、救護等を行う (b)	(a)(b)は行わず、予防の啓蒙活動を行っている (c)
			組織数 (ア)	人員 (カ)	組織数 (イ)	人員 (キ)	組織数 (ウ)	人員 (ク)			
福井市	33	803	17	313	15	433	1	57	7		26
大野市	0	0			0	0			0		
勝山市	7	61	2	33	5	28			7		
永平寺町	1	15	1	15							1
嶺北消防組	2	446	2	446							2
鯖江・丹生消防組	5	806	1	138	3	296	1	372			806
南越消防組	15	170	11	106	4	64				15	
敦賀美方消防組	5	900	2	883	1	9	2	8	3	2	
若狭消防組	9	161					2	35		7	126
計	77	3,362	36	1,934	28	830	6	472	17	17	835

第19表 消防表彰受賞状況

種 類		年 度										
		平26	27	28	29	30	令元	2	3	4	5	
叙 勲		23	21	22	23	21	23	21	20	23	15	
藍 綬 褒 章		3	2				3	1	1	2	1	
消 防 庁 長 官 表 彰	功 勞 章	2	1	1	1				1	1	2	
	永年勤続功労章	21	22	22	23	23	23	24	23	25	25	
	表 彰 旗											
	竿 頭 綬	1	1									
	消防団 地域 活動	消 防 団	1	1	1					1		1
		事 業 所		1			1	4		1	1	2
	少年 消防 クラブ	表 彰 旗										1
		表 彰 楯	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		指 導 者										
	福 井 県 知 事 表 彰	功 勞 章	40	40	40	40	40	40	39	40	40	40
永年勤続精績章		177	132	168	149	154	137	120	155	143	149	
銀 杯		73	49	55	67	58	68	47	54	64	52	
感謝状		退 職 幹 部	16	49	23	20	17	19	20	25	14	22
		人 命 救 助 そ の 他										
		配 偶 者 等 表 彰	33	33	31	26	47	44	36	49	44	35
竿 頭 綬		46	46	47	49	52	45	49	54	74	65	
特 別 功 勞 章												

## 第7章 消防教育訓練

### 1 消防学校の概要

#### (1) 沿革

昭和34年7月16日 福井市水越町に福井県消防学校設置  
 昭和47年11月1日 福井市合谷町へ移転  
 平成8年4月1日 福井市大畑町へ再移転、現在に至る。

#### (2) 施設概要

ア 所在地等 (ア) 所在地 福井市大畑町97-21-3  
 (イ) 敷地面積 40,759.02m<sup>2</sup>

イ 建物工作物等

#### 建物構造および規模

・ 敷地面積 ..... 40,759.02m<sup>2</sup>      ・ 建物延面積 ..... 8,001.62m<sup>2</sup>

名称	規模・構造	延べ面積 (m <sup>2</sup> )	内 容	
教育管理棟 宿泊施設(3階)	RC造3階	3,249m <sup>2</sup>	1階	校長室 講師控室 職員室 会議室 女性専用寮室(2室) 宿直室
			2階	普通教室(60人)(40人) 談話室 図書室 視聴覚室 理化学室(各種実習室併設) 等
			3階	寮室(20室) トレーニングルーム 娯楽室
体育館	鉄骨造2階建	2,106.25m <sup>2</sup>	1階	食堂 学生ホール 和室 倉庫
			2階	アリーナ
雨天訓練場	鉄骨平屋建	1,091.22m <sup>2</sup>	訓練場(救助、ポンプ操法訓練施設) 訓練資器材庫 訓練車両庫	
訓練塔(主)	SRC造 地下1階建 地上8階建	594.84m <sup>2</sup>	立坑訓練室 耐煙迷路室 消火設備実験室 垂直救助訓練 水平ロープ渡過 ブリッジ救出訓練施設 放水訓練室 水平救助・担架吊り下げ救出訓練施設 梯子車注水訓練室 積載梯子上救出訓練施設 梯子車進入訓練室 高所活動・人命検索訓練施設 救助袋等避難器具取扱訓練室 地下火災実験室	
訓練塔(補助)	鉄骨造 地上7m	A塔 70.44m <sup>2</sup> B塔 32.86m <sup>2</sup>	人命救助訓練施設 引上救助訓練施設 中高層建物防御訓練施設 斜め救助訓練施設 障害突破 垂直降下訓練施設	
水難訓練用プール (兼、潜水訓練)	FRP製	25m×5コース 水深1.5m～3.0m 容量630m <sup>3</sup> 採水口4箇所(ポンプ車用) 機械室・便所(34.43m <sup>2</sup> )		
その他施設	油火災消火訓練施設(耐火レンガ造) 直径3m×高さ0.5m 防火訓練壁 幅14m×高さ4m 受水槽20m <sup>2</sup> 煙道訓練施設 間口1.0m×1.0m 模擬火災訓練家屋(可搬式プレハブ型模擬ハウス) 山岳救助訓練施設(25m×60m)			
屋外訓練場	7,800m <sup>2</sup> (120m×65m)	1周200mグラウンド		

### 2 教育訓練

消防職団員の各種教育訓練を第1表および第2表のように実施し、人的消防力の充実向上を図るとともに、より高度の専門的知識を修得させた。

また、第3表のとおり消防大学校へ職員を派遣した。

第1表 令和5年度 消防本部別受講者数

区分	教育訓練の種類	項目	実施年月日	教育 実日数	延時間	消防本部										合計
						福井	敦賀美方	南越	若狭	大野	勝山	鯖江丹生	嶺北	永平寺	その他	
消防職員	初任教育(第58期)	初任教育(第58期)	R5 4. 5~9. 27	120	835	10	2	5	3	1	1	5	4	1	32	
			R5 12.4~12.15	10	70	2	2	2	1	1	1	3	2			
			隔年実施により未実施													
	幹部教育	中級幹部科(第16期)	R5 6.20~6.22	3	21	2	2	1	3	1	1	2	2	1	15	
			隔年実施により未実施													
			R5 11.14~11.22	7	49	2	2	2	1	2	1	1	3	2	1	
	専科教育	予防査察科(第19期)	R6 2.1~2.15	10	70	4	2	1	2	1	1	3	2		16	
			隔年実施により未実施													
			中止(能登半島地震)													
	教育	火災調査科(第25期)	R5 10.4~11.7	23	161	2	2	2	2	1	1	3	4	1	18	
			R6 1.25~3.18	36	252	4	5	7	4	1	1	3	7	1	35	
			R5 8.22~9.6	12	84	2	3	1	2				2	1	13	
	特別教育	水難救助科(第27期)	(下記公開講座に記載)													
			R5 4.18~4.19	2	14	5	4	4	1	2	4	4	3		31	
			R5 5.29	1	3	3	2	1	2	2	4				21	
小計	起震車操作員教育(新規養成)		224	1,559	36	28	28	26	9	11	30	33	9	212		
		R5 11.11~11.12	2	12	4	6	2	2	3	4	2			36		
消防団員	初級幹部科	現場指揮課程	R5 11.25~11.26	2	14	3	5	3	4	3	2	2	1	3	26	
			R5 11.28~11.29	2	10	2	4	3	2	2	4	3	3		29	
			R5 10.28~10.29	2	12	1	3	3	1	1	2	2	2	1	18	
	小計	消防団員指導員教育(日消)		8	48	10	18	11	21	12	7	11	10	9	109	
			R5 10.2	1	4										7	
			R6 3.3	1	6	3	4	2	2	5	3	5	5		24	
	小計	自主防災組織指導員教育		2	10	3	4	4	2		2	5	3	5	31	
			R5 10.2	1	4										7	
			R6 3.3	1	6	3	4	2	2	5	3	5	5		24	
	その他	女性防火クラブ員教育		2	10	3	4	4	2		2	5	3	5	31	
			R5 10.2	1	4										7	
			R6 3.3	1	6	3	4	2	2	5	3	5	5		24	
	合計	公開講座		234	1,617	49	46	43	49	21	20	46	46	23	352	
			R5 6.21	1	4	3	4	12	4	4		2	3	4	33	
			R5 11.16	1	4	4	5	5	1	5	1	3	2	5	32	
公開講座	通信指令員教育	R5 12.21	1	3	6	4	2	4	2	4	7	5	3	37		
		R6 3.6	1	4	4	4	4	4	4	4	2	4	4	32		
			4	15	17	23	17	7	11	14	18	10		134		
総計	公開講座		238	1,632	66	63	66	66	28	31	60	64	33	486		
		R5 11.11~11.12	2	12	4	6	2	2	3	4	2	3	4	36		

第2表 令和5年度 消防学校教育訓練実施状況

区分	項目	入校者数	教育実日数	教育時間数	担当講師別時間数				
					学校	県	消防	専門	
消防職員	初任教育(第58期)	32	120	835	540	54	196	45	
	幹部教育	初級幹部科	15	10	70	21	11	17	21
		中級幹部科	隔年実施						
		上級幹部科(第16期)	15	3	21	2		13	6
	専科教育	警防科	隔年実施						
		特殊災害科(第11期)	16	7	49	6	10		33
		予防査察科(第19期)	16	10	70	11	3	53	3
		危険物科(第36期)	隔年実施						
		火災調査科	中止						
		救助科(第47期)	18	23	161	17	8	109	27
		救急科(第31期)	35	36	252	9	5	61	177
	特別教育	水難救助科(第27期)	13	12	84	3		74	7
		操法指導員教育	31	2	14	2		12	
		起震車操作員教育(新規養成)	21	1	3	3			
小 計		212	224	1,559	614	91	535	319	
消防団員	初級幹部科	36	2	12	10			2	
	指揮幹部科								
		現場指揮課程	26	2	14	1		13	
		分団指揮課程	29	2	10	6			4
	消防団指導員教育(日消)	18	2	12	11	1			
小 計		109	8	48	28	1	13	6	
その 他・	自主防災組織指導員教育	7	1	4	4				
	女性防火クラブ員教育	24	1	6	5			1	
	小 計		31	2	10	9			1
合 計		352	234	1,617	651	92	548	326	
公開講座	上級幹部科	33	1	4				4	
	特殊災害科	32	1	4				4	
	通信指令員教育	37	1	3				3	
	救急科	32	1	4				4	
	公開講座合計		134	4	15				15
総 合 計		486	238	1,632	651	92	548	341	

第3表 令和5年度消防大学校派遣者数

学 科	派遣者数	備 考
幹 部 科 (第69期)	1	鯖江・丹生消防
幹 部 科 (第70期)	1	南越消防
幹 部 科 (第71期)	1	敦賀美方消防
上 級 幹 部 科 (第86期)	1	消防学校
警 防 科 (第110期)	1	嶺北消防
警 防 科 (第111期)	1	消防学校
救 助 科 (第85期)	1	若狭消防
救 急 科 (第84期)	1	永平寺町消防
予 防 課 (第113期)	1	福井市消防
火 災 調 査 科 (第42期)	1	嶺北消防
新 任 教 官 科 (第16期)	1	福井市消防
指 揮 隊 長 コ ー ス (第27回)	1	嶺北消防
高度救助・特別高度救助コース (第12回)	1	福井市消防
N B C コ ー ス (第12回)	1	福井市消防
航 空 隊 長 コ ー ス (第22回)	1	防災航空事務所
危機管理・国民保護コース (第12回)	1	福井市
査察業務マネジメントコース (第6回)	1	鯖江・丹生消防
合 計	17	